

むし歯のメカニズム

●エナメル質が溶ける『脱灰作用』

私たちの口の中には様々な細菌が棲んでいます。むし歯の原因菌『ストレプトコッカスミュータンス』もそれらの一種です。

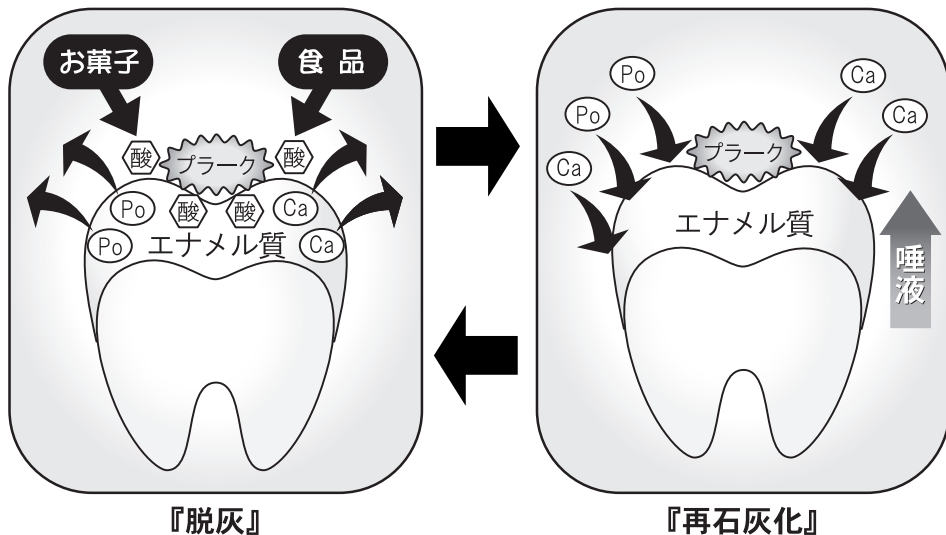
ミュータンス菌は、主として炭水化物や砂糖を原料としてネバネバした水には溶けない物質を作り、その中で酸を産出します。これが歯の表面につくプラークです。

酸によって、エナメル質からはカルシウムやリンがどんどん溶け出す『脱灰』（だっかい）が起こりますが、これがむし歯の始まりです。

●エナメル質を修復する『再石灰化作用』

食後しばらくすると食べ物が口に入ってきたことで酸性に傾いたお口の中は、唾液のもつ中和する働き（緩衝能）によって徐々にpHが元に戻ります。さらに唾液の中に含まれているエナメル質と同じ成分であるカルシウムやリンが、歯の表面に戻ってきます（『再石灰化』）。これで脱灰が修復されます。

お口の中では食事をする度に『脱灰』と『再石灰化』が行われます。この二つの作用のバランスが崩れ、脱灰の方向に傾けばむし歯が進行します。むし歯を防ぐためには、規則的な食事習慣によってお口の中を酸性にする回数をできるだけ減らし、フッ素を活用して再石灰化を促進させます。



KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

11 2003年 月号



秋も深まってきました。お子さんたちは次から次へと学校行事、お家の方もお弁当作りやお手伝いで何かと気ぜわしい季節です。つい予約も忘れがちになると思いますが、カレンダーに「歯予約」と書き込んだり、目に付く場所に予約日時を書いたメモを貼るなどして、予約を忘れないようにしてください。

もちろん風邪をひいたり体調がすぐれないときのキャンセルも、早めにご一報ください。ご連絡を早くいただければ、そのお時間に急患の方の診療ができますし、お待ちの方の診療時間を早めることもできます。予約厳守も無断キャンセル防止も、患者さん同士、辛いときは皆一緒の「思いやりルール」とお考えになつて、ご協力をお願い致します。

ところで先月よりアロマオイルによる芳香を始めました。診療室は、歯科材料や薬品の匂いがこもります。また、天候や風向きで駅前の下水管の臭気が上の階に上がってきます。こうした不快感をできるだけ減らし、気持ちよく受診していただきたいという思いからです。自然の香りに少しでも安らぎますでしょうか？

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。
このニューズレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

☆ 診療日変更のお知らせ ☆

診療日の変更はありません
木・日・祝日 休診



〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F
☎ 03-5699-8888